

偏差値に惑わされるな。 「君はどう生きるか」

Don't measure your potential by Standard Deviation
How Can I Contribute to Our Future World?



私たちはOISの高等部で学び、「国際社会で活躍していく未来の自分」にチャレンジしました。その「頑張りの証し」として、日本や、世界各国の多くの大学から合格通知をいただきました。

2024【第二期生】合格実績

海外大学 ※参考出典 [2024 THE世界大学ランキング]

- ◆ブリティッシュコロンビア大学 (カナダ) ※世界41位
- ◆セントニール・カレッジ (カナダ)
- ◆モナッシュ大学 (オーストラリア) ※世界54位
- ◆シドニー工科大学 (オーストラリア)
- ◆クイーンズランド工科大学 (オーストラリア)
- ◆ロイヤルメルボルン工科大学 (オーストラリア)

◆香港科技大学 (香港) ※世界64位

- ◆香港教育大学 (香港)
- ◆オークランド工科大学 (ニュージーランド)
- ◆リンカーン大学 (ニュージーランド)
- ◆カンタベリー大学 (ニュージーランド)
- ◆ニュージーランド・スクール・オブ・フード&ワイン (ニュージーランド)

国内大学

- ◆国際基督教大学 (ICU) 教養学部
- ◆法政大学 経済学部
- ◆立命館大学 グローバル教養学部
- ◆立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
- ◆武蔵野大学 薬学部
- ◆横浜薬科大学 薬学部

2023【第一期生】合格実績

海外大学 ※参考出典 [2023 THE世界大学ランキング]

- ◆トロント大学 (カナダ) ※世界18位
- ◆マギル大学 (カナダ) ※世界31位
- ◆メルボルン大学 (オーストラリア) ※世界33位
- ◆シドニー大学 (オーストラリア) ※世界11位

◆パーミンガム大学 (イギリス)

- ◆エセック・ビジネススクール (シンガポール)
- ◆カリフォルニア州立大学ノースリッジ校 (アメリカ)
- ◆ハワイ パシフィック大学 (アメリカ)
- ◆カピオラニ コミュニティカレッジ (アメリカ)

国内大学

- ◆早稲田大学 国際教養学部
- ◆早稲田大学 社会科学部
- ◆上智大学 国際教養学部
- ◆上智大学 経済学部

The gateway to universities across the world 「世界中」に広がる大学への進路

初等部～中等部～高等部までの
IB一貫教育が拓く「未来」

本校は 文部科学大臣が指定した学校法人の高等専修学校です。大学入学資格付与指定校であり、本校修了者は大学入学に関して、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められ、国内・海外の大学を受験することができます。

OIS Group

 OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL
オキナワインターナショナルスクール®

〒901-0611 沖縄県南城市玉城字富里143番地
143 Fusato, Tamagusuku, Nanjo-city, Okinawa 901-0611 JAPAN

☎ 098(948)7711

✉ admission-center@ois-edu.com



OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL
沖縄で唯一 国際バカロレア (IB) 一貫教育

保育・幼稚部
那覇キャンパス

初等部
南城キャンパス

中等部
南城キャンパス

高等部
南城キャンパス
学校法人 PST アカデミー
沖縄国際学院 高等専修学校
大学入学資格付与 指定校

公式ウェブサイト



資料請求



最新情報を発信します



OKINAWA 2024-2025
INTERNATIONAL SCHOOL
初等部 中等部



IB World School
国際バカロレア認定校

世界基準の知識・語学力・道徳心。
国際社会から広く求められる人材を育てる
沖縄唯一の【国際バカロレア一貫教育校】

Okinawa's One and Only International Baccalaureate Continuum School
Standing for education that produces world-class knowledge, language skills and
morality to enable and empower globally active learners.

私たち大人は、子どもの未来が今より、より良い社会になることを強く願っています。
しかし願うだけでは、それは実現はできません。より良い未来のためには、高い目標と国際
的な教養を持つ人材が必要です。その人材を生み出すのが「次の時代のための教育」です。
OISは、国際社会でイノベーションを起こす人材育成を目指して、2006年から国際
バカロレアプログラムを導入し、「探究型教育」に取り組んできました。日本人にとって
大切な母語・日本語や、日本文学の教育も、真のバイリンガルを育てるためには重要です。
子どもたちが明るく輝く未来創造を自ら考え行動し、実現していく「国際教養人」へと
成長していくために、OISの教育があります。

We adults strongly hope that the future of our children will be a better society than the present.
However, we cannot achieve this goal by merely wishing for a brighter future.
To achieve such a future, we require human resources with ambitious goals and an international
education. "Education for the next generation" is crucial in fostering such individuals.

In 2006, OIS introduced the International Baccalaureate Program as a means to cultivate
human resources capable of innovation in international society, focusing on inquiry-based education.
Education in the mother tongue, specifically Japanese language and literature, is equally
essential for nurturing genuine bilingualism among Japanese people.
OIS's educational framework aims to develop children into "internationally educated individuals"
who think critically and independently, poised to create a promising and radiant future.



理事長/校長 知念 正人
School Director/Principal Masato Chinen

Be a Seeker of Truth!

『真理の探究者』となれ

Philosophy

Okinawa International School の理念

全ての学習者が「真理の探究者」と成るべく、教育という視点で民族・国籍・言語・宗教・政治の
違いを超えて、お互いを理解し、尊重し、交流を図りながら学習者自ら課題を見出し、考え、行動し、
社会へより良い変革をもたらすことを志高く掲げるグローバルエリートを育てます。

Mission

Okinawa International School の使命

私達の教育は「人権と平和」、「自然環境との共生」、「多文化理解」の3つを基軸とした探究教育を
力強く推進するために、「地域から国際社会を理解する力」、「コミュニケーション力」、「論理的思考」、
「数理的分析力」、「ICT・AIスキル」、「批判的・創造的思考」、「高度な倫理観」を各教科間で連携する
教育カリキュラムを提供します。

人・心・自然 そして健康と長寿の島
〈ブルーゾーン・沖縄〉をグローバル教育の舞台に

A High Standard Global Education in Okinawa: The islands and its
people are known for good health, longevity, beauty in nature,
world renowned Blue zone Oceans, and mindfulness.



世界中で活躍する「国際教養人」を育てるために
なくてはならない環境——それが「沖縄」です

沖縄にあるもの、それは
人の心の豊かさ
平和を尊ぶ概念
自然とのゆたかな共生
歴史・文化の継承と誇り
異文化・多様性への敬意
グローバルな人材教育の歴史

Okinawa embodies...
•Open-mindedness
•Honor in universal peace
•Preservation of nature
•A unique heritage, History and culture
•Reverence for multicultural diversity
•A history of international relations

「ブルーゾーン」とは？

健康で長寿な人々が数多く居住する地域の総称です。
この概念はベルギーの人口学者/ミシェル・プーラン
とイタリアの医師/ジャンニ・ベスガ、長寿者が多い
イタリア・サルデーニャ島のバルバギア地方の地図上
に「青色マーカー」で印をつけたことに由来します。

- イタリア・サルデーニャ
- 日本・沖縄
- アメリカ・カリフォルニア州・ロマリダ
- コスタリカ・ニコヤ半島
- ギリシャ・イカリヤ島

School History スクールの歴史

2003年 4月	那覇市で初めて、英語環境での幼児保育を目的とした「オキナワインターナショナルスクール」を設立	2016年 1月	第1回コミュニティプロジェクト(中等部3年生)
2005年 8月	児童・生徒数の増加と初等部開校のため校舎を那覇市楚辺へ移転	4月	制服をリニューアル
9月	1歳児クラス 開講	7月	中等部が「国際バカロレア ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)認定校」となる
2006年 4月	初等部を新設	2017年 10月	初等部5年生・6年生と中等部1年生～3年生がベトナムへ修学旅行
2008年 5月	国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)の候補校となる	2018年 1月	台湾の苗栗縣後龍鎮新港國民中小學(Xin-Gang Elementary and Junior High School)と姉妹校となる
2011年 7月	沖縄で初めて、日本でも20校目の「国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)認定校」となる	5月	「沖縄国際学院 高等専修学校(2020年4月 開校)」が国際バカロレア ディプロマ・プログラム(DP)の候補校となる
2012年 2月	第1回エキシビション(初等部6年生)	2019年 7月	南城市の新キャンパスへ移転
3月	初等部/第一期生 卒業	2020年 4月	学校法人 PSTアカデミー 設立
4月	初等部・高学年および中等部のための別館スクールを那覇市壺川に開設 中等部/第一期生 入学	4月	「沖縄国際学院 高等専修学校」開校
2014年 1月	中等部が国際バカロレア ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)の候補校となる	12月	国際バカロレア ディプロマ・プログラム(DP)の認定校となる
2015年 3月	中等部/第一期生 卒業	2021年 10月	文部科学省より大学入学資格付与校の認定を受ける
		2023年 2月	高等部 1期生卒業/1期生全員 国内・外 大学合格
		2024年 2月	高等部 2期生卒業/2期生全員 国内・外 大学合格

IB Continuum Programs 【初等部・中等部・高等部】国際バカロレアの一貫教育



〈HOLD ON TO YOUR DREAM AND CLIMB FOR IT.〉
～夢を持って!そこをめざし登り続けなさい～



School Logo Message ～ロゴマークに込める思い～

外を囲む青い円は、沖縄の「O」、Oceanの「O」を模しています。未来へ羽ばたく鳥の足とまっすぐな瞳を「I」で表現します。そして「S」のイメージで鳥の姿を描きます。青い円の外側まで突き出すくちばしには、沖縄を飛び出して日本へ、世界各地へ飛躍していく将来像を。王冠には、常にトップに挑んでいく勇ましい決意の心を込めています。

OIS has its own unique learning environment OIS が持つ独自の学習環境

Enhancement of Facilitator Role 【Facilitatorの充実】

励まし、我慢強く育てる。初めての英語環境で学ぶ児童生徒にとって「楽しく学ぶ」ことは簡単なことではありません。児童生徒が自ら「できる!」という自信が持てるまで、教師が我慢強く励まし続けながら、生徒一人ひとりに伴走します。



Enhanced Out-of-School Learning 【校外学習の充実】

OISの教育の目的は、将来社会にイノベーションを起こせる人材の育成です。そのためには現社会の成り立ちを座学とともに学ぶことも大切です。初等部ではテーマごとに、中等部ではプロジェクトごとに、社会探究やキャリアガイダンスを行っています。



An environment with significant multinational faculty 【重要な多国籍教諭の環境】

グローバル社会は多様性に満ちています。そのような社会でこれから活躍する児童・生徒には、グローバルマインドや、クリティカルシンキング、論理的思考の成長を促す、多国籍の教師陣の環境で学ぶことも重要です。



Okinawa International School Becoming the Hub of Education!!

オキナワ インターナショナルスクールを 教育のHUBに!!

沖縄は歴史的にみても台湾・中国大陸・朝鮮半島・東南アジア・日本を結ぶアジアのアジマー(十字路)です。教育を通して、世界の児童・生徒がコミュニケーションを図り、お互いを理解し合う拠点となるように——。OISは教育のアジマー(十字路)を目指しています。



IB Continuum School OISの理念を達成するために「最高水準の国際教育」を導入 国際バカロレア 認定校

- ◆Primary Years Programme
- ◆Middle Years Programme
- ◆Diploma Programme

In 2006, OIS made the decision to embrace International Baccalaureate (IB) education
2006年 OISは国際バカロレア教育に挑むことを決断

その背景には、IBの理念とOISの理念の合致がありました。国際人の育成に必要な全人教育を前提に、「ローカルからグローバルへ」、「母語+他言語力の成長」、「教科書やテスト中心の教育から生徒が自ら探究する教育へ」というIBのカリキュラムに、大いなる共感と可能性を見出しました。

Becoming a committed global citizen 真の国際人となるための学び

国際バカロレアプログラム(IB)の特徴は、横断的な教育内容にあります。教科書偏重、教師中心、成績優先の教育ではなく、科目や学年が相互に連携しながら、自己、社会、国、世界の成り立ちなどを学んでいきます。こうした環境の中で、子どもたちは物事を深く探究し、多角的に考えていくようになります。自分で考えて行動することの意義が授業に組み込まれています。生徒たちには、自分が学んでいることがテストや受験のためだけでなく、世界と交流していく「真の国際人となるための学び」であることを理解させる指導をしています。

Applying global standards to empower students in Okinawa 沖縄で世界基準の全人教育を

IBのカリキュラムは、知的発達や人格的成長、情緒や社会性の発達に力を入れると同時に、「言語」「人文科学」「理科」「算数・数学」「美術」の各教科の学習にも取り組んでいます。すべての児童・生徒が、思考力や表現力、倫理観、研究性、異文化への理解と寛容性を育み、偏見のない心を養います。豊かな人間性と国際通念を持つ「真のグローバルエリート」を沖縄から。私たちは、国際バカロレア認定校として、沖縄の地で世界トップレベルの教育が受けられる環境を提供し続けます。

IB Learner Profile IBプログラムの学習者像



IB Programs IBプログラム 3つの教育課程

DP
【ディプロマプログラム】
Diploma Programme

DPとはIB(国際バカロレア)のディプロマ・プログラム(17歳・18歳)。通常日本における高校2年・3年次に実施する。

MYP
【ミドルイヤーズプログラム】
Middle Years Programme

MYPとはIB(国際バカロレア)のミドル・イヤーズ・プログラム(11歳～16歳)。日本における小学6年生より開始し、中学の3年間を経て、高校1年生までの5年間で実施する。

PYP
【プライマリーイヤーズプログラム】
Primary Years Programme

PYPとはIB(国際バカロレア)のプライマリー・イヤーズ・プログラム(3歳～11歳)。3歳児～5年生までの間に、6つのテーマをもとに探究学習していく。



Elementary 初等部

- Grade 1 1年生
- Grade 2 2年生
- Grade 3 3年生
- Grade 4 4年生
- Grade 5 5年生

Enriching students' potential through 5 years of progressive and globally-centered education

知性と国際感覚を養い「現在から未来への大きな可能性」を拓いていく5年間

OISの初等部は、国際バカロレアのプライマリー・イヤーズ・プログラムにあたります。児童は、このカリキュラムを通して物事を深く探究し、国際的視野を培い、知識が増えていくことの喜びと、学ぶことの意義・意欲を身につけていきます。また、社会の成り立ちを学習する中で、相手を尊重する気持ちを学び、信念を持って自分の意見をまわりに伝える力を身につけます。さらに、探究してきたテーマを振り返って検証することによって、学びの質をさらに高め、自分の力で問題を解決していく行動力も養います。知識や感性のグローバルな成長を通じて、児童の現在から未来に大きな可能性を拓きます。

A modern style of education based on a transdisciplinary approach to explore topics and contents

1つのテーマを複数の教科で探究学習

PYPを学びの軸に、児童が探究のプロセスや方法を楽しみながら身につけていけるよう、教員はサポートしていきます。児童は固定観念にとらわれず本質を捉え、問題について深く多角的に見る力を培います。学ぶことに前向きなIB学習者として、知識、身体、感性の全人教育を実践します。

Future studies after Elementary Education

初等部からの進路

IB continuum education ~国際バカロレア (IB) の一貫教育~
「国際バカロレアの一貫教育」を求めて、多くの在校生が「OISの中等部」へと進んでいきます。

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

初等部 Elementary

PYP 国際バカロレア
プライマリー・イヤーズ・プログラム

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

中等部 Middle School

MYP 国際バカロレア
ミドル・イヤーズ・プログラム
IB学習者として、新たな探究課題へ。知識・技能・人間性を進化させます。

A curriculum that integrates and values the Okinawan culture and identity

「沖縄」のアイデンティティも大切に

感受性豊かな小学生の時期に、「沖縄のアイデンティティ」という、もう一つの大切な学びも。「沖縄」が舞台の国際バカロレア校として、郷土の生活・文化・歴史などを学ぶ「しまくとぅば」と「空手」のクラスを開設しています。IB学習者の使命である「平和な世界を築くこと」にも通じる独自の指導方針です。

「進路相談デスク」が万全にサポート

OIS中等部への進学や、公立小学校からの転入学など、あらゆる進路相談にお答えします。



Resonate with children's senses
The enjoyment of learning, the ability to think, and the expansion of knowledge
児童の五感に響かせる 学びの楽しさ・考える力・知識の広まり

カリキュラム Pick Up

UOI 探究型授業

多様なカリキュラムで、他に類を見ない教育を実践しています。UOI (Unit Of Inquiry) とは、IBカリキュラムの中核をなすもので、児童たちが人生で優れた能力を発揮するために必要な、知識・スキル・概念・行動といった大切な素養を学んでいきます。単なる知識や丸暗記などではなく、学際的な探究プログラムで幅広くバランスの取れた概念的な学習体験を提供します。



児童は最初のうちは不安や緊張に包まれますが、日が経つにつれて力をつけ始め、スキルや自信を深めて挑戦を楽しむ姿に変わっていきます。

カリキュラム Pick Up

English 英語

言語能力の成長は、単独で教えられるものではありません。探究クラスと関連させて英語のクラスでは、「読む」「聞く」「書く」「話す」「見る」「発表する」などのコアスキルを中心に指導します。児童は習得した英語能力を、世界と交流するためのスキルとしてユニークに活用し始めるのです。



児童は初めのうちは英語でのコミュニケーションに戸惑いを感じます。しかし成長するにつれ、自由に自信を持って自分の意見を述べられるようになります。

カリキュラム Pick Up

Math 算数



児童は算数を学ぶことに意欲的で好奇心旺盛です。常に共同作業で協力し合って探究し、理解と応用を深めながら能力を積み重ねていきます。

算数の授業は「探究クラス」に基づく横断的な学習です。授業には探究型とプロジェクト型の両方を取り入れ、常に複数の視点から考え、算数の知識や理解を実生活と結びつけていきます。このカリキュラムを通じて、児童は探究心や思慮深さ、豊富な知識、ふり返る力、バランス感覚、思いやり、心の広さ、挑戦する姿勢などを一歩ずつ身につけていきます。

カリキュラム Pick Up

Life Tech ライフテック



児童たちは次第に、iPadを自己表現のツールに使用したいと意識しはじめます。自分が持つスキルを存分に発揮し、挑戦し続ける人へ成長します。

Life TechクラスではICT学習を推進しています。児童個々にiPadを配付し、低学年ではその基礎的な使い方からビジュアルプログラミング、アプリを使ったポスター作りなどを行っています。中高学年では、編集アプリを使った動画作成や、プレゼンテーションに使うスライドの使い方などを自由に触りながら学習。PYPの最終学年で行うエキシビションでも大きな成果を発揮します。

カリキュラム Pick Up

Japanese 日本語

日本語のクラスでは、教科書の枠を超えてUOI (探究学習) のテーマに沿った文学作品や説明文などを取り入れています。ペアワークやグループワークなど、児童の興味を刺激し続けるスタイルで、インターネットで検索したり、活発にコミュニケーションしながら学習を進めます。将来、MYPやDPで求められる「文学作品を読み解ける力」の育成にもつなげます。

初めは授業やスクールの中だけに留まっていた学習が、やがて帰宅後や休日の自主的探究に発展。互いに刺激し合って学ぶ姿に変化します。



カリキュラム Pick Up

P.E. 体育

体育では1年間を通して5つのユニットを行います。探究学習とも関連させ、友達と協働することで実技だけでなく、チームワークや社会性も養います。iPadで技や演技を撮影し、「どうすればよいのか？」を客観的に考え出す場面も大切にしています。授業を通じて、目的のために自分は今の段階にいて、どうすれば次に進んでいけるのか？を考え、行動していける「Risk-taker」を育てます。



児童たちはiPadでスローモーション撮影をして、膝の角度や姿勢などを教え合う練習方法を自主的に開発。「挑戦」する心・技・体を成長させています。

Student's Voice

〈Grade 1 児童〉

わたしは、からのクラスが好きです。ようちんぶのときから、からのクラスがあってリーダーのやくわりをしていました。おおきくなったらオキナワインターナショナルスクールのようちんのせんせいになりたいです。せんせいになるために、べんきょうをがんばっています。

〈Grade 2 児童〉

ARTが、すきです。絵をかくことが、すきだからです。しょうらいは、バレエの先生やパティシエになりたいです。いまは、ダンスやバレエのれんしゅうをがんばっています。フリータイムに、みんなとダルマおとしや、おしゃべりしてあそぶことがたのしいです。

Travel the world with an understanding of international culture using Japanese and English languages

日・英の言語を使って 世界に羽ばたく国際教養の旅へ

English Competency 本物の英語力を育成

ただ単に聴いて話せる英語ではなく、英語を自在に使いこなしながら、自分の意見を伝えたり、討論をしたり、思うままに記述できる能力を完成させます。



- 習得目標**
- ◆英検…5年生までに準2級レベル以上
 - ◆TOEFL Junior…スコア745以上

Intensive Japanese Instruction 日本語での指導も万全に

多くの児童の第一言語である日本語をしっかりと学習。理科、社会などの国際バカロレアの探究型授業には、「英語」を取り入れながら語学力を高めさせ、日本語も活用していく授業を進めています。



Utilizing Advanced ICT ICT環境を授業に活用

より高い学習効果や、授業の効率化、情報社会に即応するIT技能の向上をめざして、英語や日本語、算数などの各教科から、国際バカロレアの探究学習まで、すべての児童が専用のタブレット端末(iPad)を活用。先進のICT環境を授業に取り入れています。



Professionally Addressing the Differences in Language Ability with Supplementary Classes

英語・日本語の習熟度を補う【言語サポートクラス】

入学直後や年次が進んでいく中で、児童の間では英語や日本語の言語力に習熟度の差が出はじめます。児童自身の不安や、保護者のご心配を解決するために、初等部では英語の授業中に行う言語サポート「在籍するクラスにサポートの先生が入る“Push in クラス”」や、「別室で集中的に学ぶ“Pull out クラス”」、日本語ではJFLクラスを併設して、基礎語学をしっかりと支援します。



PYP Exhibition 探究学習の集大成【エキシビション】

国際バカロレアプライマリー・イヤーズ・プログラムの探究学習発表会として、PYP最終学年の5年生によるエキシビションが行われます。児童がこれまでの学習で培ってきた、探究する力・まとめる力・発表する力・協働体験・知識・スキルなどのすべてを、英語で発表します。〈絶滅危惧種〉〈テクノロジー〉〈飢餓〉〈災害〉〈自然〉など、児童が自ら興味のある社会問題を選び、トピックについて発表します。



Student's Voice

〈Grade3 児童〉

体をうごかすことが好きなので、体育のじゅ業がいちばん楽しいです。ほかにもMandala Artdにとりくむことが好きなので、図工のじゅ業も楽しいです。しょうらいは、テニスのせんしゅになりたいです。そのために、毎日2時間・1500メートル走っています。テニスのせん手になって、がい国に行ったりしたときに、英語の力をつかいたいです。スクールの中で楽しいのは、体育の時間に好きなスポーツをやっているときです。

〈Grade4 児童〉

英語の授業が一番好きです。それは、パラグラフライティングが好きだからです。しょう来の夢は、差別をなくすことです。なぜなら、お父さんから、世の中の差別について聞いて、それをなくしたいと思ったからです。OISのライブラリーで、いじんの本や差別についての本を読んでいる時間が、とても楽しいです。

Class Schedule 初等部での一日

国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラムの探究型授業を中心に、国際バカロレアの基準に沿った教科学習を進めます。学習内容が多岐に渡るため、一般の小学校より多めの授業時間数となります。

Grade 2 Class Schedule 2年生クラスの時間割モデル

Time	Period#	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	
8:30		Homeroom ホームルーム					
8:35	Morning activity	Circle Time サークルタイム	READ aloud 音読	READ aloud 音読	READ aloud 音読	READ aloud 音読	
8:55~9:40	#1	UOI/Math 算数	UOI/Math 算数	UOI/Math 算数	UOI/Math 算数	UOI 探究型授業	
9:45~10:30	#2	UOI/English 英語	UOI/English 英語	UOI/English 英語	UOI/English 英語	UOI 探究型授業	
10:30~10:40		Recess 休憩					
10:40~11:25	#3	UOI 探究型授業	UOI 探究型授業	UOI/Japanese JFL 日本語	UOI/Japanese JFL 日本語	UOI/English 英語	
11:30~12:15	#4	UOI 探究型授業	UOI 探究型授業	UOI/Japanese JFL 日本語	Life Tech ライフテック	UOI/English 英語	
12:15~13:10		Lunch 昼食 / Cleaning 清掃 / Free time 昼休み					
13:10~13:55	#5	P E 体育	UOI/Japanese JFL 日本語	Music 音楽	UOI/Art 図工	Independent Inquiry 自主探究	
14:00~14:45	#6	P E 体育	UOI/Japanese JFL 日本語	UOI/Media Literacy メディアリテラシー	UOI/Art 図工	PSE/Shimakutaba /Karate 道徳など	
14:45~15:15		Homeroom ホームルーム / Cleaning 清掃					

■ 英語で行われる授業 ■ 日本語で行われる授業 ■ 英語もしくは日本語で行われる授業

Q1. 宿題はどのくらいありますか？

A.各学年によって異なりますが、児童の様子や探究内容によって、週3回~毎日あります。宿題の内容もそれぞれ教科によって異なりますが、保護者にインタビューする、前もって授業に関する動画を見ておく、ワークシートの問題などがあります。頑張っても解けない場合は無理をせず、スクールへ持たせてください。先生がサポートします。

Q2. どのようなテストや試験がありますか？

A. 英語力を測る試験として、TOEFL Primary/Junior、日本語では漢字検定を取り入れています(2024年度現在)。その他、UOI(探究クラス)の各単元でプレゼンテーションなどの課題があります。

Q3. 家庭ではどのようなサポートをすれば良いですか？

A. まずは毎日10分でも英語の本を音読するなど、家庭で少しでも英語の環境を作ることです。また、スクール内では日本語に触れる時間が少ないので、日本語を第一言語とするご家庭では、日本語の本を読む環境、漢字の練習などのサポートをお願いしています。

Q4. 放課後はどのように過ごしていますか？

A. 放課後は、お迎えが来るまでの時間やスクールバスの出発時間まで、宿題をしたり、図書室で本を読んだり、お友達と卓球やボードゲームなどをして過ごしています。また、外部指導者が、ベリーダンスや空手、英語クラス、プログラミング、デジタルアートなどのクラブ活動を提供しています。(※クラブ活動は別料金となります)

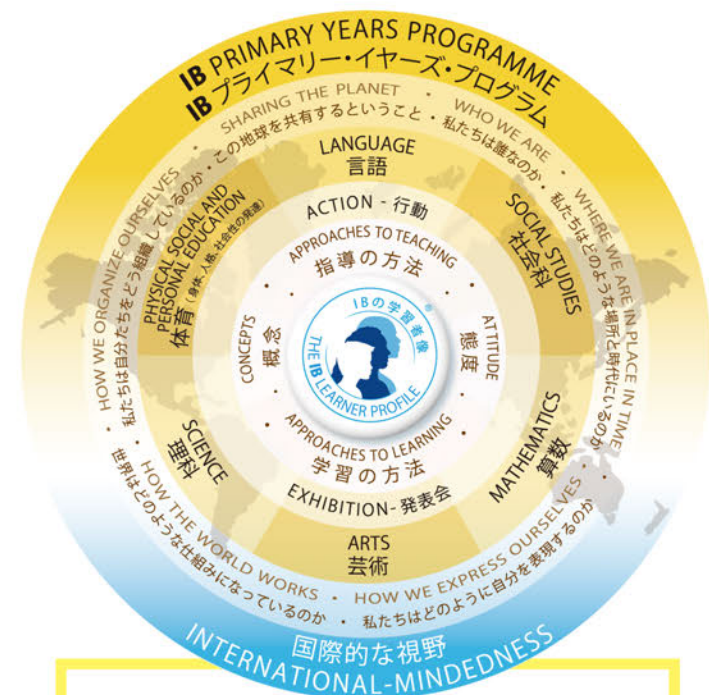
Q5. 初等部からの入学では遅いですか？ 授業についていけない時はどうしたらいいでしょうか？

A. OISでは「幼稚部」からの一貫教育を提供しており、英語のスキルや探究心を養うために、早い時期から英語環境で過ごすことが推奨されます。これにより、初等部ではスムーズに学習に参加することができます。とはいえ、初等部からの入学や転入も珍しくありません。最も重要なのは、児童のやる気と、ご家庭でのサポート体制です。授業についていけない場合は、担任や教科担任と相談し、どこでつまづいているのか、ご家庭でどのようにフォローすればよいか、などを一緒に計画していきます。



PYP model

プライマリー・イヤーズ・プログラムのモデル



Transdisciplinary Curriculum Spanning Six Units of Inquiry

教科の枠を超えた「6つのテーマ」

テーマの探究を通じて算数や社会、理科などの教科スキルを養います。同時に、教室で学ぶことと社会との「つながり」を意識させる指導も大切にします。

- テーマ1 私たちは誰なのか
- テーマ2 私たちはどのような場所と時代にいるのか
- テーマ3 私たちはどのように自分を表現するのか
- テーマ4 世界はどのような仕組みになっているのか
- テーマ5 私たちは自分たちをどう組織しているのか
- テーマ6 この地球を共有するということ

Student's Voice

〈Grade5 児童〉

絵をかくことが好きなので、Artの授業が一番楽しいです。目ひょうとしては、むだづかいをしないで、宿題や課題を全力ですることです。そのために、なるべくHomework diaryを見て、課題や期げんを確にんしています。OISで一番楽しいイベントは、全学年の生徒と一緒に遊べるAutumn adventureです。



Middle School 中等部

Grade 6 6年生 Grade 7 7年生 Grade 8 8年生 Grade 9 9年生

Providing a multilingual environment, we raise our students to become globally-minded citizens.

多言語かつ包括的な学習環境の中で国際的な視野を持つ人材を育成

中等部では、本来、初等部の段階であるGrade6(6年生)から、「国際バカロレア」のミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)が始まります。

初等部の探究学習で培ってきた知識や能力をさらに深めて、高等部、ひいてはディプロマ・プログラム(IBDP)へスムーズに移行していくための重要な期間です。教科学習を通して、世界を舞台に活躍できる英語などの外国語学習を通じ、コミュニケーション能力を身につけていきます。さらに日本の伝統文化や歴史、言語も深く学び、自分自身のアイデンティティを模索しながら、真のグローバルエリートを育てます。

MYP 3つの教育方針

Holistic-learning
包括的学習

「すべての知識は相互に関わり合っている」という認識に基づく学びと、その指導

Intercultural-understanding
多文化理解

「生徒・保護者・教職員が、自国や他国の文化を尊重」する国際的視野

Communication
コミュニケーション

「開かれたコミュニケーション」の重要性を理解し、そのスキルを習得する

Class Schedule

中等部での一日

中等部では、国際バカロレア(IB)の探究型授業を中心に、ミドル・イヤーズ・プログラムの履修科目を学びます。

Grade 6 Class Schedule 6年生クラスの時間割モデル

Time	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:30~8:35	Homeroom ホームルーム				
8:40~9:30	1st Individuals & Societies 個人と社会	Mathematics 数学	Music 音楽	Mathematics 数学	Mathematics 数学
9:35~10:25	2nd Individuals & Societies 個人と社会	Design デザイン	Music 音楽	PHE 保健体育	Language & Literature 言語と文学 英語・国語
10:35~11:25	3rd Visual Arts 美術	Design デザイン	Language Acquisition 言語習得 英語・日本語	Individuals & Societies 個人と社会	Language Acquisition 言語習得 英語・日本語
11:30~12:20	4th Visual Arts 美術	Independent Study 独立学習	Individuals & Societies 個人と社会	Language Acquisition 言語習得 英語・日本語	Sciences 理科
12:20~13:10	Lunch Break 昼食				
13:10~14:00	5th Independent Study 独立学習	Karate 空手	Sciences 理科	Independent Study 独立学習	PHE 保健体育
14:05~14:55	6th Language Acquisition 言語習得 英語・日本語	Language & Literature 言語と文学 英語・国語	Sciences 理科	Independent Study 独立学習	PHE 保健体育
15:00~15:55	7th Mathematics 数学	Sciences 理科	Language & Literature 言語と文学 英語・国語	Language & Literature 言語と文学 英語・国語	SERVICE AS ACTION 奉仕活動と行動
15:55~16:05	Homeroom ホームルーム				

■ 英語で行われる授業 ■ 日本語で行われる授業 ■ 英/日で行われる授業(生徒の第一言語によって異なる)

Grade 9 Class Schedule 9年生クラスの時間割モデル

Time	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:30~8:35	Homeroom ホームルーム				
8:40~9:30	1st Mathematics 数学	Sciences 理科	Individuals & Societies 個人と社会	Visual Arts 美術	Independent Study 独立学習
9:35~10:25	2nd Language Acquisition 言語習得 英語・日本語	PHE 保健体育	Individuals & Societies 個人と社会	Visual Arts 美術	Design デザイン
10:35~11:25	3rd Design デザイン	Language Acquisition 言語習得 英語・日本語	Mathematics 数学	Mathematics 数学	Sciences 理科
11:30~12:20	4th Language & Literature 言語と文学 英語・国語	Individuals & Societies 個人と社会	Language Acquisition 言語習得 英語・日本語	Individuals & Societies 個人と社会	Language Acquisition 言語習得 英語・日本語
12:20~13:10	Lunch Break 昼食				
13:10~14:00	5th Sciences 理科	Language & Literature 言語と文学 英語・国語	PHE 保健体育	Language & Literature 言語と文学 英語・国語	Karate 空手
14:05~14:55	6th Sciences 理科	Visual Arts 美術	PHE 保健体育	Language & Literature 言語と文学 英語・国語	Mathematics 数学
15:00~15:55	7th Independent Study 独立学習	Visual Arts 美術	Independent Study 独立学習	Independent Study 独立学習	SERVICE AS ACTION 奉仕活動と行動
15:55~16:05	Homeroom ホームルーム				

■ 英語で行われる授業 ■ 日本語で行われる授業 ■ 英/日で行われる授業(生徒の第一言語によって異なる)

Classes centered on the development of imagination, creativity, and organization skills

発想力・創造力・構想力の開発を核とする授業

カリキュラム Pick Up Individuals & Societies 個人と社会



歴史と社会科学の授業を組み合わせた年間6つのユニットで構成。授業は探究型で、若いうちから高次の思考を身につけるというIBのミッションに沿って、重要な概念を理解していきます。国際教育とともに、OISでは沖縄の文化を学び、その歴史を理解し、体験することに重点を置いています。音楽と歴史を組み合わせた他教科同士によるコラボレーション授業を行うなど、常に「新しいアイデア」を取り入れながら、「生徒主体」「少人数制」の創造的な学習環境を提供しています。

カリキュラム Pick Up English Language Acquisition 英語言語習得



英語の言語習得において、中等部ではIBディプロマ・プログラムも視野に、早い時期から英検準1級の取得を目指します。国際標準の語学カテスト・TOEFLやIELTSに対応するため、フラッシュカードやドリルを使って年間平均120時間のカリキュラムを組んでいます。

カリキュラム Pick Up Service as Action 奉仕活動



生徒も教師もすべてが「愛に満ちた世界市民」として成長していくために、OISでは奉仕活動の授業も大切にしています。1つ1つの機会や経験が、生徒の人生に新しい視点や洞察力を与え、尊敬・感謝・責任・理解・協調の心で平和な社会をリードしていきける、すばらしい「国際教養人」に育ちゆくことを願っています。

カリキュラム Pick Up Sciences 理科



人体のバランス・自然界のバランス・自然界の変化・化合物の名称と式の書き方・化学反応と式・運動、というトピックを6つのユニットで学びます。科学の世界では「魔法」のように見えても、生徒がその原理を理解すれば魔法ではなく、これを常に生徒の学習活動の中に提供しています。聞くだけでは忘れる。見れば覚える。やれば理解できる。チャレンジングな課題に意欲的に取り組める授業を構成しています。

カリキュラム Pick Up Visual Arts 美術



美術を学ぶには多様な文化への知識と理解が重要です。生徒が精神的にも感情的にも活発であることが、この創造的なプロセスに成功をもたらします。時には授業の初めにサルサ音楽を流して高揚感を分かち合います。一人ひとりが優れた美的感覚で芸術を鑑賞し、理解し、分析し、創造する力を育てるために、包括的な視覚教育をテーマとしています。

カリキュラム Pick Up Japanese Language & Literature 国語



様々な地域、時代、ジャンルの文学作品や、新聞やポスターなどの非文学作品も含めて、それらのテキストを学習し、分析します。言語、登場人物、作者、時代背景など様々な観点からアプローチし、探究し、筆記の作文だけでなく、プレゼンテーションや映像作りなど多様な方法で表現する機会を設けます。こうした活動の中で、創造性豊かな読み書きの力を育て、コミュニケーション力、発表力を身につけます。

カリキュラム Pick Up Design デザイン

MYPのデザインのクラスでは、最終的な作品や解決策よりも全体的なデザイン過程に重点を置いています。探究心と問題解決は、デザインの中心です。デザインカリキュラムモデルを使用して、探究を構成し問題を分析する方法論、実現可能な解決策の開発・作成、そしてそれをテストし評価などを行います。

Student's Voice

〈Grade6 生徒〉

INSの授業が好きです。沖縄の歴史を学ぶのが楽しくて、先生も優しいからです。将来は医師かダンサーになりたいです。医師になりたい理由は、小さい頃に持病があり、その時に助けてくれたお医者さんがカッコよく見えて、自分も色んな人を助けたいと思ったからです。そのために今は人体について勉強しています。ダンサーになりたい理由は、普段とは違う方法で自分を表現できて楽しいからです。OISで一番楽しいのは満足でのパーベキューです。学年の壁を越えてみんなと一緒に遊んだり、スナックパーティーができて、毎回とても楽しみです。

〈Grade7 生徒〉

私は、すべての教科が好きです。異なる教科で、同じ単元や社会問題についての授業でも、教科や担当の先生が違うので、様々な方向からその物事を学ぶことができると楽しいし、おもしろいからです。沖縄には日本人だけではなく外国人もたくさんいて、その方々のサポートもしたいので、英語の勉強に力を入れています。また、自分を応援してくれる方、そばで支えてくれている方に感謝を伝えるように心がけ、行動でも返すことを大切に、与えられた環境で私が起こせる行動を全うするために、日々自分のできることを、自分なりに、自分のペースで精一杯やりたいです。

〈Grade8 生徒〉

物語を作ったり考えたりするのが好きなので、国語の授業が好きです。以前に、すでにある物語の続編を考える授業があって、それがとても楽しかったです。私の夢は心理士になることです。沖縄には日本人だけではなく外国人もたくさんいて、その方々のサポートもしたいので、英語の勉強に力を入れています。学校生活では、みんなで大きなプロジェクトに向けてチャレンジしているのが楽しいです。G5の時に取り組んだExhibitionと、G6の時に取り組んだOISフェスティバルが印象的です。意見が割れて大変な時もありましたが、みんなでひとつのものを作り上げていくやりがいを感じました。

Develop comprehensive intelligence, high ethical standards, and practical language presentation skills

総合的な知性 高い倫理観 実践的な語学によるプレゼンテーション力を育成

A Versatile Curriculum that Enhances Language Adaptability and Readiness for Various World-Standard English Proficiency Tests

「言語適応能力」を高めるカリキュラムで ハイレベルな資格取得を目標に

中等部ではほとんどの教科を英語で学ぶため、入学時から一定レベルの英語力が求められます。そこからさらに言語の適応能力を高めるカリキュラムを実践し、そこで身についた英語力を測るため、英検を受験する生徒もいます。準1級、1級の取得を目指しながら、TOEFL Jr. やIBTのハイスコアにも挑みます。また漢検などの幅広い資格にもチャレンジします。



■ 中等部での「英語レベル成長目標」

成長目標	Grade6終了	Grade9終了	
CEFR 基準	A 2	B 1	B 2
TOEFL Juniorスコア	600-750	745-850	850-900
日本の「英検」	準2級	2級・準1級	準1級・1級

Meaningful Testing and Language Placement

言語力に応じたクラス分け

MYPでは外部試験(APTISなど)を活用した英語クラス分けを定期的に行っており、英語力を総合的に評価します(CEFR 言語運用能力測定指標)。評価結果は、カリキュラムにおける言語サポートやクラス分けに使用するだけでなく、生徒一人ひとりの努力や成長の記録にもなります。



Personal Project

自主的な探究活動の 成果を発表 【パーソナル・プロジェクト】

Project Based Learning:PBL(問題解決型学習)は、探究型学習の代表的な手法の一つです。その特徴は、生徒が現実世界の課題を解決するための製品(プロジェクト)を構築することです(例:株のチャートとローソクとは何か・パソコンを使ったアニメソングの作り方・自然の写真技術の向上・世界の貧困・2Dモデルソフトウェアを学ぶなど)。OISでは、世界のコミュニティへの貢献を合言葉に、国連のSDGsにも挑戦する革新的なアプローチで、このPBLを実践しています。生徒自身がプロジェクトのアイデアを考え、教師はファシリテーターとして彼らを支援しながら導いていく、生徒を中心とした学びのスタイルを一貫しています。こうした先進的な学習体験を通じて、生徒たちは生涯にわたって学びへの本質的な興味を持ち続け、創造的思考・批判的思考・問題解決能力など、これからの世の中に求められる大切なスキルを身につけていくのです。



Educational Outbound Trips to Explore History, Nature, and Culture

歴史・自然・文化を探究する「校外学習」



生徒たちは「学校の外」、つまりリアルワールドで、さまざまなテーマを学ぶ活動を体験します。これらの教育的な「校外学習」は、生徒たちを地元の歴史、社会、文化、政治、科学、自然、環境を考える機会に結びつけます。理論を現実的に体験することは、とても重要な学習プロセスです。

Karate 空手

中等部では2021年度から週に一度のプログラムとして導入しました。高等部卒業までに黒帯取得を目指して取り組んでいます。



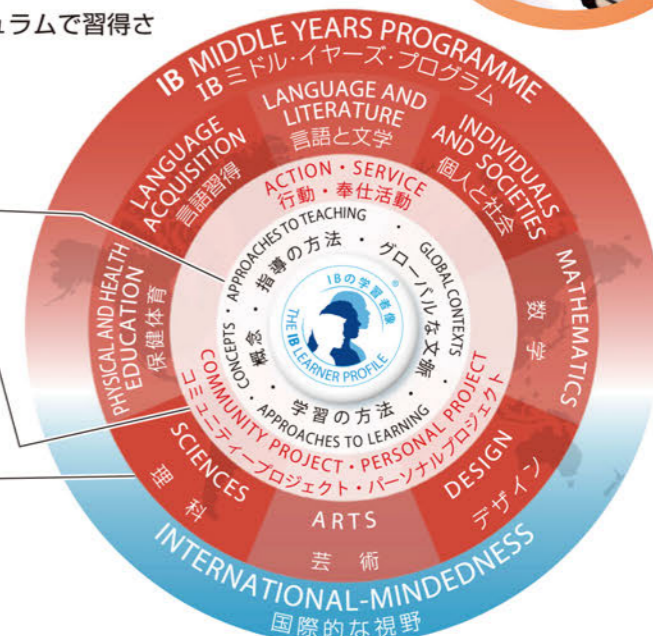
Smooth transition from PYP to DP

PYP学習を生かしたDP学習の出発点

MYPでは、PYPにおける教科の枠を超えた横断的な学習モデルから、集中的な教科学習と学際的学習モデルへ移行します。PYPで培った探究の姿勢を教科学習にも応用させる、とても大事な時期です。教科学習は知識の習得のみに終わらず、「学んだことと社会がどのように結びつくのか」という考えを中心に据え、国際的な視野と能動的な学習者になれる人材の育成をめざしています。また、ディプロマ・プログラムへの出発点ともいえるMYPでは、DPIに進学する生徒に求められる技能や知識、それらに対する学習姿勢を、連続性のあるカリキュラムで習得させる環境を整えています。

MYP model ミドル・イヤーズ・プログラムのモデル

- 4つの基本要素
 - ◆指導の方法 ◆グローバルな文脈
 - ◆学習の方法(ATL) ◆概念
- 自主的行動・奉仕活動
 - ◆行動・奉仕活動
 - ◆パーソナルプロジェクト
- カリキュラム
 - ◆言語習得(英語・日本語) ◆言語と文学(英語・国語)
 - ◆個人と社会 ◆数学 ◆デザイン ◆芸術(美術・音楽)
 - ◆理科 ◆保健体育



Academic career from Middle School

中等部からの進路

OISの高等部(和名:沖縄国際学院高等専修学校)には、国際バカロレアコース(IB)と国際リベラルアーツコース(ILA)があります。OIS中等部の生徒は、IBDPコースに進学します。もちろん、このIBDPコースで学ぶための英語力・学力・目標を持っている外部生も、IBDPコースの受験は可能です。ILAコースは、OISの英語環境や探究教育、海外大学への進学体制を求めて、他校からの受験によって入学する生徒を対象とします。

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

中等部 Middle School

MYP 国際バカロレア ミドル・イヤーズ・プログラム

沖繩国際学院 高等専修学校
OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

Grade10 ▶ Grade12

2つのコース

- 国際バカロレアコース (中等部からの内部進学生が中心)
- 国際リベラルアーツコース (他校からの受験によって入学)

※詳しくは高等部のパンフレットをご覧ください

進路相談デスク

インターナショナルスクールの進路は、以前より非常に選択肢が増えました。特に国際バカロレアにおいては、文部科学省も推奨する国際認定プログラムのため、国内の国公立・私立大学も積極的に受け入れています。国内の大学をはじめ、海外進学も視野に入れた多様性のある進学カウンセリングが重要です。本スクールでは中等部から継続的な進路ガイダンスを行い、様々な可能性を示しながら目標意識を高める学びの姿勢に活かしています。



Student's Voice

〈Grade9 生徒〉

私が一番好きな教科は社会です。歴史上のできごとや、政治の仕組みが変わってゆくのがおもしろいからです。最近の授業では、ドキュメンタリーの制作に取り組んで、時間や役割の配分を考える必要がありました。成功とは言えない結果でしたが、また行いたい課題です。将来は英語力を生かして、英語でのプレゼンテーションやコミュニケーションを行う仕事に関わられたらと考えています。その夢を実現するために、今はIBコースを卒業することが一番大切だと考えているので、学校生活を楽しみながら勉強に動んでいます。私にとってOISは本当に楽しい学校です。一つの理由は、授業がユニークであることです。探究する課程が楽しいと感じるので、国際バカロレアプログラムは私のような人にとって理想的な場所です。もう一つの理由は、学校のアクティビティの豊富さです。去年はOISフェスティバルや運動会などがあり、大変な学校生活の中に、心の休息となる場所や時間があることがすごくいいと思います。

Fully-Equipped Facilities 充実した施設



Library 図書室

探究学習に役立つさまざまな書籍や資料があります。Wi-FiでPCやタブレットから素早く情報収集できる、オンライン資料も充実しています。



Chemistry Lab. 化学室

化学実験中の安全を守る国際基準に合わせた設備・機材を導入。講義のためのモニターやボードも設置して、高度な理論と実践の場を提供します。



Music Room 音楽

音楽は世界共通の感性を創造します。初等部、中等部のIBカリキュラムに即応する実習設備を整えています。



Art Room 美術室

奔放な創造意欲にこたえる芸術活動のアトリエ空間です。視覚的な感覚を、感情や文化、社会的な側面から学びます。



Multipurpose Hall 多目的ホール

入学式・卒業式などの式典、児童・生徒による発表会や空手・体育などの授業に活用される多機能空間です。



Design Room デザイン教室

OISのデザイン授業は、多教科を横断的に学びながらICTで技術的かつ論理的に取り組んでいきます。



世界基準の専門的な探究プログラムで 国際教養を身につける理想の環境



A Wonderful Environment to Exercise Your Mind and Body

心も身体も元気に！
アクティビティ環境も充実



南城市体育館



Track & Field

校舎から徒歩圏内の南城市の施設を使って、保健体育の授業や、学校行事のスポーツイベントを行ないます。

School Bus スクールバス

送迎ルートは県内広域をカバー。生徒(児童)の安全で安心な登下校をサポートします。

各エリアからの運行ルート

- 沖繩市・中部ルート
- 宜野湾・浦添ルート
- 那覇北・首里ルート
- 那覇南・小禄ルート
- 豊見城・糸満ルート



Welcome!
Future Students!

やる気に満ちた生徒を
歓迎します

School Uniform スクール制服

国際バカロレア教育の発祥地・ヨーロッパ伝統のタータンチェックに、沖縄が世界に誇る伝統工芸「紅型」のアクセント柄を取り入れた、清楚で活動的なデザインです。



Elementary 初等部



Middle School 中等部



Relationship with Public Schools

公立小・中学校 / 教育委員会との関係

本スクールは国際バカロレア(IB)の認定校ですが、文部科学省から一条校としての認可を受けている学校ではありません。沖縄県内の公立小・中学校に学籍を置いている児童・生徒は、そこに籍を置きながら本スクールに通学し、学ぶことになります。本スクールから児童・生徒の出欠席状況・成績などを定期的に公立学校に報告します。



※本スクールは、地元の公立学校との教育的な協力関係を推進しており、将来的には教員間の研修や生徒たちとの活発な交流をめざしております。

Organization Chart 組織体制

